

そよ風

2026年
4～6月号
No.148

横浜市港北国際交流ラウンジ

KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

令和8年度スタートにあたり

(特非) 港北国際交流の会 理事長 鬼頭 幸久



先ずは白ごろよりボランティアの方々の熱意ある献身的な活動に改めて感謝申し上げます。現在特に港北区在住外国人の方は年々顕著に増加しています。1月末現在横浜市全体で138,556人、港北区は9,625人となり、市内5番目の多さです。また、当ラウンジの外国人来館者も増加し、延べ8,400人（7年度見込み）の世界40の国から来日され日本語教室やニューカマー子どもの教室などに参加しています。

そのような状況下において、「多文化共生」を推進する拠点である「港北国際交流ラウンジ」の役割は一層重要になってきます。一般住民生活者として、在住外国人支援を実践していく上でも、多面的且つ有機的に各事業を組み合わせ、行政関連機関、地域コミュニティ、学校（小～大学）等とも「連携・協働」し、更には在住外国人の活動参画、やさしい日本語の

普及も重要な要素となります。

大学生、高校生ボランティア団体「Youth国際なんでも教室」も外国につながる子どもたちへのサポートを主体的に活動し、着実に定着し好評を得ています。

さて、今年度より「NPO法人港北国際交流の会」は特に日本語教室部会、交流企画部会、業務部、管理部が全体的に執行体制が変わります。変化の中には新たな進化があります。日常性に埋没することなく、多文化共生の場として更なる価値創造し発展していかなければなりません。退任される部門代表、各代表に於かれましてはこれまでご尽力に対し改めて感謝申し上げます。

地域在住外国人が地域に溶け込み、住民として区別なく日本人と共に暮らしやすい街づくりを目指し、双方からの信頼を得るには、ボランティアの方々、そしてすべてのラウンジ利用関係者皆様方の変わらぬご理解、ご支援、ご協力なくして成り立ちません。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

末筆になりますが、今年度も皆さますべての関係者全員が健康で、楽しく、明るく活動できることを祈念し、令和8年度始めの挨拶とさせていただきます。



日本語教室部会

新代表 中本健司さん

今年度より新しく日本語教室部会の代表を務めることになりました中本です。2014年

から日曜日クラスで学習支援を始め今年で13年目になります。以前2年間副代表を務め約10年ぶりに代表活動に携わることになるのですが、当時と比べ自分たちを取り巻く環境が大きく変わってきていると感じています。外国の方との共生についてさまざまな議論が巻き起こっている中で、日本語教育の充実という言葉を目にする機会が増えました。また、日本語教育

制度にも大きな動きがあります。2019年に日本語教育推進法が施行され、初めて国や自治体に日本語教育の環境を整備する責務のあることが明記されました。その後、教育機関の認定や教員の国家資格化などが続いています。

ただ、世の中が変わっても私たちが向き合っているのはひとりひとりの学習者であり、学習者が必要としているのはボランティアそれぞれからの学習支援であることに変わりはありません。多様な人たちが日本語教室に参加しており、新しい出会いやきっかけを見つけることができる場となっています。学びや交流を通して豊かな人生を送るきっかけを得られる場として存在するような教室を目指したいと考えています。

わたし かつどう
私のボランティア活動 (No.31)

にほんごきょうしつちゅうぶ 日本語教室木曜白クラス 岡本 英作 さん



わたしにほんごボランティアを始めたのは2023年4月からですが、きっかけは、会社を退職し暇になったときに、今度はいままでと全く違うことをしてみたいと思ったことでした。そこでなにをしようか

と何気なく新聞を眺めていたら、「来日した外国人のなかで日本語が分からないことで社会になじめず疎外感を抱えて生きている人が結構な数いる」との記事が目につきました。これはいけない、せっかく日本に来たのに言葉が分からないためにつまらない人生を送っている本人もつらいし、日本社会に対し嫌な印象をもたれては日本人としても本意ではないと思い「よし外国人に日本語を教えてみよう」と思い立ちました。

ただ海外で生活をしたこともなく外国語もできない私にも出来るのだろうかと思い、いろいろ調べてみると日本語で日本語を教えるので大丈夫、日本語学校でなくても身近なところでボランティアを募集していると分かり、港北国際交流ラウンジの日本語ボランティアに応募しました。

教え始めてまだ3年も経ってないですが、養成講座のときに講師の先生がおっしゃっていた「来週もまた来ようと思ってもらうのが大事」との言葉を大切にして教えています。ただ実際に教えているときに、日本語の表現のもとになっている日本の歴史や習慣などの話になると、がぜん脱線してしまい、文法そっちのけで雑談が長くなってしまいます。

担当した学習者の国籍はスリランカやネパール、バンラディシュ、中国、インドネシアなどいろいろですが、それぞれの国の実情や生活実態を聞くことができそれはそれで楽しいものです。また最近ではクラスでのイベントなどで皆さんとの交流もでき、居心地も良くなってきましたので、これからも楽しくボランティア活動を続けていきたいと思っています。



でんとうぶんか むす はなし
伝統文化『結ぶ』のお話とワークショップ

12月14日、「日本の伝統文化」の第2回『結ぶ』が開催されました。

日本は、毎月行事が行われます。それぞれの由来や結び

だいはくりよく
大迫力
つがるじゃみせん しょどう きょうえん
津軽三味線と書道の競演

2月8日 雪がまだ降りやまない悪天候にも拘わらず、津軽三味線と書道の競演はお客様が満員でした。

奏者の栗原武啓氏は父親の影響で5歳の頃から津軽民謡、津軽三味線を習い修行。シオノギミュージックフェアでは北島三郎、八代亜紀、キム・ヨンジャのコンサートでもバック演奏をされました。2007年津軽三味線全国大会団体戦にて優勝、2019年全国競技会名古屋大会一般男性の部で優勝。現在はソロ活動、ライブ演奏、テレビ出演等で活躍中です。13歳の頃からフラメンコギターも学び、渡西して本格的に修業。三味線とフラメンコ(ロマ由来)は社会的弱者から生まれたという共通点があり、「哀愁のこもった旋律 聴衆の琴線に触れる音楽」と説明がありました。

3部構成で最初、津軽やされ節、津軽塩釜おはら節の熱のこもった素晴らしい演奏で、パチの音が場内に響き渡りました。



次はラウンジの書道体験教室講師河村紫流氏と書道とのコラボ演奏で、人身大の用紙4枚に、<馬><駆><遊><久>(うまくゆく)の文字を津軽三味線の音色に合わせ一語一語およそ10分で見事に書きあげられました。

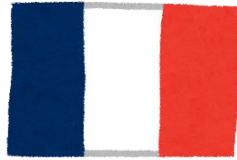
最後に津軽じょんから節等3曲の津軽三味線のソロ演奏があり1時間30分の演奏会の幕を盛大な拍手で閉じました。三味線の皮は何で作られている?と聴衆に聞かれる場面があり、ほとんどの人は、猫の皮と答えましたが、正解は犬の背中皮でした。猫の皮は薄く、津軽三味線のようにパチでたたくような演奏法には適さないそうです。ちなみに、本体は紅木という紫檀で作られていますが、大変高価で現在は入手困難だそうです。

こととのかかわりも興味深く外国の方にもわかりやすいお話でした。

あわじ結びのストラップは、教室が静まりかえるほど真剣に作成し、とても素敵に仕上がりました。有意義な楽しい時間を共有できました。

にほんごがくしゅうしゃしょうかい 日本語学習者紹介(No.43)

ロラ ドッシュさん
フランス出身



Q, どちらのご出身ですか？

フランスのバスク地方のバイヨンヌから来ました。バスク地方というのはフランスとスペインにまたがる地域で、バスク民族がフランス語ともスペイン語とも異なる独自のバスク語を使って暮らしています。私自身はバスク人ではありませんが、バスクの人々はバスク人としてのアイデンティティーや自分たちの文化を大切にしています。毎年7月には5日間祭りを楽しむのですが、この祭りを見に世界中から観光客がやってきます。

Q, いつ日本に来ましたか？

2024年2月に来ました。小学校の歴史の授業で、日本の歴史やお寺などの日本の建物が紹介されたことが日本に興味を持つきっかけになりました。その後ジブリをはじめとする日本のアニメも好きになって、いつか日本に来たいと思っていました。

Q, 日本の印象はいかがですか？

想像していた通り、平和で清潔ですね。それから、人からあまり干渉されないことが快適です。例えばカフェでもフランスなら店員さんとおしゃべりするのが普通ですが、日本だとあまり余計なことを話さなくてもいいのでリラックスできます。静かで落ち着いた日本の雰囲気が好きです。

Q, 仕事が休みの時はどのように過ごしていますか？

週2日の休みのうち1日はラウンジで日本語の勉強をして、あと1日は手軽な旅行を楽しんでいます。今までは関東中心に、箱根、江ノ島、川越、東京に行きました。江ノ島と箱根の温泉は特に気に入っています。北海道や九州など遠くにはまだ行ってないのでこれから行ってみたいです。日本の温泉で服を着ていないことに抵抗を感じる方もいますが、大学生の時スウェーデンに留学して水着なしの入浴やサウナを経験しているので、

日本でのお風呂の入り方も大丈夫です。

Q, あちこちにいらしているんですね。

大学生の時、EU圏内の相互留学制度を利用して1学期間スウェーデンに留学しました。大学卒業後1年間ベトナムで仕事をしていました。そこで同僚の日本人と色々話すうちに日本に行きたくなり、3週間日本に観光にきました。ベトナムに戻ってからも日本への興味が増して、本格的に日本に来ることにしました。

Q, 日本の食べ物はどうですか？

もともと肉よりも魚が好きなので、日本の鍋料理、おそば、お刺身すべて美味しく感じます。節分の日には恵方巻きを食べました。

Q, バスク地方の料理を教えてください。

フランス料理のように個々のお皿に料理をのせるのではなく、大皿にもった料理をみんなで取り分けて食えることが多いです。世界的に有名な白に黒ブチ模様があるバスク豚が美味しいです。子羊や牛のひき肉を特産の唐辛子とニンニク、オリーブ油で煮込むアショアは典型的な家庭料理です。魚貝類とワインを使ったエビソパペスカードという濃厚スープもよく知られています。

Q, フランスのおすすめ観光地を教えてください。

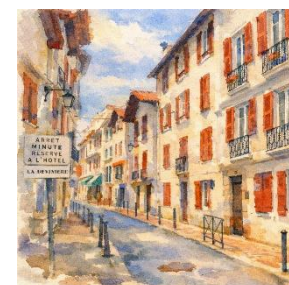
地中海に面したマルセイユは紀元前600年からの歴史があるフランス最古の都市と言われています。ノートル・ダム・ド・ラ・ガルド寺院からのマルセイユの街の眺めは素晴らしいです。この寺院の鐘楼の上にある黄金の聖母マリア像も親しまれています。



フランス南部の内陸にあるカルカソンヌは世界遺産に登録されたヨーロッパ最大級の中世城塞都市です。全長約3kmの二重の城壁と52の塔があります。



ローマ人が最初の壁を建設し、13世紀にフランス王ルイ9世が障壁を二重にしました。フランスで2番目に人気の観光地です。



バスク地方にあるサン・ジャン・ド・リュズは、赤い木組の古い街並みとビーチが有名です。バスク風マカロンを売っているお店もあります。



ハロー！ワールド ドイツのクリスマス

12月7日(日)ラウンジ主催のハロー！ワールドは「ドイツのクリスマス」。ワインで有名な南ドイツ フライブルク出身のナシバ デニスさんのトークイベントがありました。ブドウ味の温かい飲み物キンダープンシュと、シナモングローブスパイス等の入った「レープクーヘン」というクリスマスクッキー、甘酸っぱいタルト生地のお菓子「リンザートルテ」を頂きながら、満員の参加者は一定早くクリスマス気分を味わうことができました。



クリスマスイベントは12月の第一日曜日から1月6日まで続きます。場所によって異なりますが、クリスマスマーケットは通常11月終わりから12月23日まで、全国約3000か所で朝10時から夜9時まで開かれます。1434年ドレスデンで始まり最初は肉とパンだけでしたが、次第に大きくなり、全国に広がっていきました。

12月6日は聖ニコラウスの日で第二のクリスマスと

いわれています。聖職者で生涯を通して美しい人々に献身し、サンタクロースのモデルともいわれています。



クリスマスイブは午後休みに家族が集まり、みんなで室内ゲームをします。夕食後には待ちに待ったプレゼント交換です。持ち寄ったプレゼントはクリスマスツリーの下に置いてあり、子供たちはある程度どれにするか、決めていきます。サンタクロースがプレゼントを持ってくるという風習はありません。15時頃にカフェタイムが始まりクリスマスクッキーを食べ、コーヒー・紅茶を飲みます。夕食はガチョウか鹿の肉と赤キャベツ、ラクレット、グーラッシュ等を添えて食べます。食事のあとにプレゼント交換し20時頃教会に行きます。ミサは2、3時間3回あります。コンサートもあり皆で賛美歌を合唱します。

クリスマスと正月は学校、会社ほとんどの公共機関は休みで、家でくつろいで、ゲームをします。そして2日も洗濯は禁止です！



おど 踊ってハッピー♪ アフリカンミュージック LIVE



2月1日(日)アフリカミュージックLIVEを開催、港北ラウンジは熱気に包まれました！

演奏して下さったのは、Enjoy Afro Nippon (エンジョイ アフロ ニッポン)の皆さん。ギニア、ベナン、ブルキナファソ(日本語教室の学習者)、日本のメンバーが、熱いステージを見せてくれました。ジャンベをはじめとする太鼓、パーカッション、ベース、キーボードで素敵な曲を何曲も演奏してくれました。



途中、出身国の紹介ビデオがあったり、スタッフがアフリカクイズをしたり。また、楽器の体験では子どもたちも太鼓を叩いて興味津々でした。

そして会場が大いに盛り上がったのが、ダンス！観客の皆さんも、ノリノリで踊りました！

真冬の寒さを吹き飛ばす熱いイベントに、皆ニコニコでした。



よこはましこうほくこくさいこうりゅう
横浜市港北国際交流ラウンジ
KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

〒222-0032

横浜市港北区大豆戸町316-1

E-mail kohokulounge@yokohama.nifty.jp
ホームページ https://kohokulounge.com/



Website



Facebook



Instagram